

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和 3 年 6 月 11 日	
滋賀県 知事 殿	
提出者	
住 所 三重県松阪市中央町306番地の1	
氏 名 株式会社 北村組 取締役社長 北村 浩文 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 0598-51-3800	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社 北村組 旧だんじビル解体工事作業所 他1現場
事業場の所在地	滋賀県彦根市河原2-1-9他1現場
計画期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	総合建設業
②事業の規模	125億
③従業員数	127名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	内容は別シート1の工程表による。

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

内容は別紙2の当社管理体制図による。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 2 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くず	がれき類（その他）
	排出量	10 t	928.09 t
	(これまでに実施した取組)		
	・がれき類については中間処理業者（最終再生へ処理する）を選定しコンクリート碎石等再利用環境に取組みました。 ・その他の廃棄物に関しては一部は再生可能であり再生できない部分については残渣処分となった。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くず	がれき類（その他）
	排出量	10 t	50 t
	(今後実施する予定の取組)		
	・昨年に引き続き、がれき類については中間処理業者（最終再生へ処理する）を選定しコンクリート碎石等再利用環境に取組む。 ・CSRにおいて産業廃棄物の取組を実施（再生率上昇） ・SDGS面に関しても再資源等の有効活用化を強力業者と構築する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・がれき類において再生利用できている。一部その他がれきにおいては中間処理となった。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・各種産業廃棄物を引き続き分別処理していく。又、混載率の削減に努める。

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

内容は別紙2の当社管理体制図による。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 2 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類 (コンクリート破片)	建設混合廃棄物 (管理型)
	排出量	826.72 t	13.42 t
	(これまでに実施した取組)		
	第2面 (1) 参照		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類 (コンクリート破片)	建設混合廃棄物 (管理型)
	排出量	200 t	5 t
	(今後実施する予定の取組)		
	第2面 (1) 参照		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 第2面 (1) 参照
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 第2面 (1) 参照

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

内容は別紙2の当社管理体制図による。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 2 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設工事の木くず	石膏ボード
	排出量	3.85 t	4.76 t
	(これまでに実施した取組)		
	第2面 (1) 参照		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設工事の木くず	石膏ボード
	排出量	20 t	10 t
	(今後実施する予定の取組)		
	第2面 (1) 参照		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 第2面 (1) 参照
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 第2面 (1) 参照

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

内容は別紙2の当社管理体制図による。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 2 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	繊維くず
	排出量	11.3 t	0.17 t
	(これまでに実施した取組)		
	第2面 (1) 参照		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	繊維くず
	排出量	20 t	2 t
	(今後実施する予定の取組)		
	第2面 (1) 参照		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 第2面 (1) 参照
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 第2面 (1) 参照

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

内容は別紙2の当社管理体制図による。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 2 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃石綿	水銀使用製品廃棄物
	排出量	42.62 t	0.23 t
	(これまでに実施した取組)		
	第2面 (1) 参照		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃石綿	水銀使用製品廃棄物
	排出量	0 t	1 t
	(今後実施する予定の取組)		
	第2面 (1) 参照		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 第2面 (1) 参照
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 第2面 (1) 参照

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	t	t
②計画	(これまでに実施した取組)		
	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減 量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 2 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くず	がれき類（その他）
	全処理委託量	10 t	928.09 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	5.92 t
	再生利用業者への処理委託量	10 t	922.17 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組）		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ がれき類については中間処理業者（最終再生へ処理する）を選定しコンクリート碎石等再利用環境に取組みました。その他の廃棄物に関しては一部は再生可能であり再生できない部分については残渣処分となった。 ・ 木くずにおいても業者選定の際に再生施設業者を利用した。 		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 2 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類 (コンクリート破片)	建設混合廃棄物 (管理型)
	全処理委託量	826.72 t	13.42 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	19.24 t	2.08 t
	再生利用業者への 処理委託量	807.48 t	0 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組）		
	第4面(1)参照		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和 2 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設工事の木くず	石膏ボード
	全処理委託量	3.85 t	4.76 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	3.85 t	4.76 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組）		
第4面(1)参照			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 2 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	繊維くず
	全処理委託量	11.3 t	0.17 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組）		
	第4面(1)参照		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和 2 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃石綿	水銀使用製品廃棄物
	全処理委託量	42.62 t	0.23 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組）		
第4面(1)参照			

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くず	がれき類（その他）
	全処理委託量	10 t	50 t
	優良認定処理業者への処理委託量	10 t	50 t
	再生利用業者への処理委託量	10 t	50 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
	・各種産業廃棄物を引き続き分別処理していく。又、混載率の削減に努める。		
※事務処理欄			

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類 (コンクリート破片)	建設混合廃棄物 (管理型)
	全処理委託量	200 t	5 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	100 t	3 t
	再生利用業者への 処理委託量	200 t	5 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
	第5面 (1) を参照		
	※事務処理欄		

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設工事の木くず	石膏ボード
	全処理委託量	20 t	10 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	10 t	5 t
	再生利用業者への 処理委託量	20 t	10 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
	第5面（1）を参照		
	※事務処理欄		

(第5面)

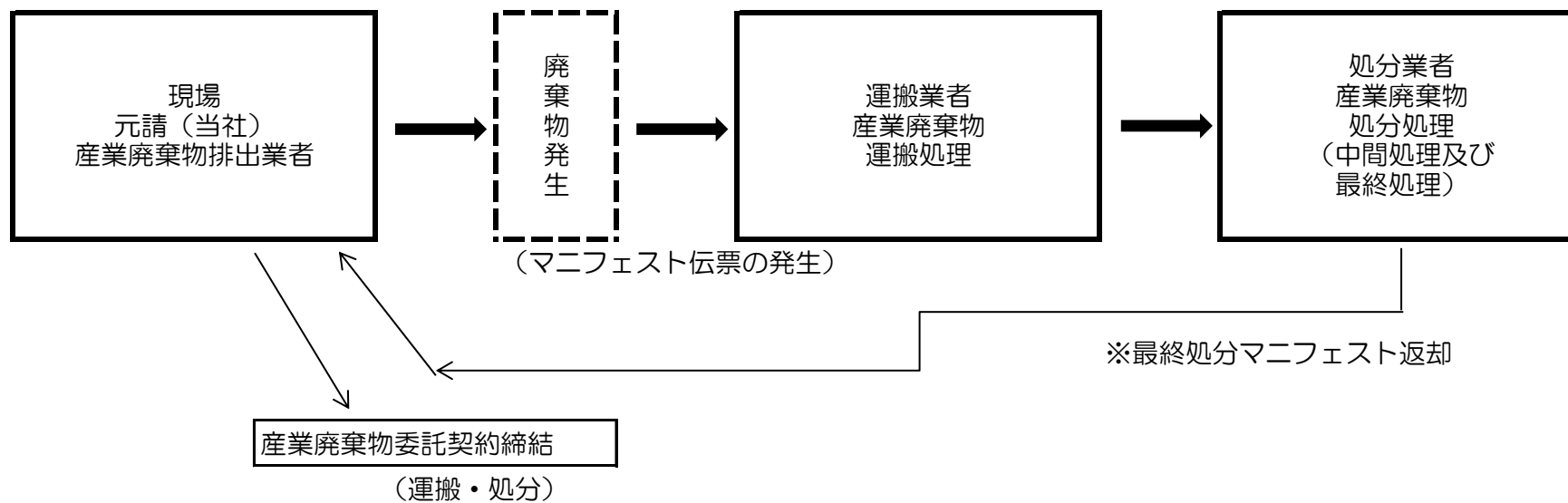
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	繊維くず
	全処理委託量	20 t	2 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	10 t	1 t
	再生利用業者への 処理委託量	10 t	1 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
	第5面 (1) を参照		
	※事務処理欄		

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃石綿	水銀使用製品廃棄物
	全処理委託量	0 t	1 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	1 t
	再生利用業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
	第5面 (1) を参照		
	※事務処理欄		

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。



本社 廃棄物に関する管理体制

